

インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年4月26日聖日礼拝

「どんな祈りもいけます」

ルカの福音書7章36節-50節

8章43節-48節

河村従彦牧師



聖書朗読

新約聖書

ルカの福音書 7章 36節 - 50節 及び
8章 43節 - 48節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp117 ~ / 第三版の聖書はp124 ~

- 36 さて、あるパリサイ人が、いっしょに食事をしたい、とイエスを招いたので、そのパリサイ人の家に入って食卓に着かれた。
- 37 すると、その町にひとりの罪深い女がいて、イエスがパリサイ人の家で食卓に着いておられることを知り、香油の入った石膏のつぼを持って来て、
- 38 泣きながら、イエスのうしろで御足のそばに立ち、涙で御足をぬらし始め、髪の毛でぬぐい、御足に口づけして、香油を塗った。

- 39 イエスを招いたパリサイ人は、これを見て、「この方がもし預言者なら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか知っておられるはずだ。この女は罪深い者なのだから」と心ひそかに思っていた。
- 40 するとイエスは、彼に向かって、「シモン。あなたに言いたいことがあります」と言われた。シモンは、「先生。お話しください」と言った。
- 41 「ある金貸しから、ふたりの者が金を借りていた。一人は五百デナリ、ほかの一人は五十デナリ借りていた。

- 42 彼らは返すことができなかったなので、金貸しはふたりとも赦してやった。では、ふたりのうちどちらがよけいに金貸しを愛するようになるでしょうか。」
- 43 シモンが、「よけいに赦してもらったほうだと思います」と答えると、イエスは、「あなたの判断は当たっています」と言われた。
- 44 そしてその女のほうを向いて、シモンに言われた。「この女を見ましたか。わたしがこの家に入って来たとき、あなたは足を洗う水をくれなかったが、この女は、涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれました。

- 45 あなたは、口づけしてくれなかったが、この女は、わたしが入って来たときから足に口づけしてやめませんでした。
- 46 あなたは、わたしの頭に油を塗ってくれなかったが、この女は、わたしの足に香油を塗ってくれました。
- 47 だから、わたしは『この女の多くの罪は赦されている』と言います。それは彼女がよけい愛したからです。しかし少ししか赦されない者は、少ししか愛しません。」
- 48 そして女に、「あなたの罪は赦されています」と言われた。

- 49 すると、いっしょに食卓にいた人たちは、心の中でこう言い始めた。「罪を赦したりするこの人は、いったいだれだろう。」
- 50 しかし、イエスは女に言われた。「あなたの信仰が、あなたを救ったのです。安心して行きなさい。」

- 43 ときに、十二年の間長血をわずらった女がいた。だれにも直してもらえなかったこの女は、
- 44 イエスのうしろに近寄って、イエスの着物のふさにさわった。すると、たちどころに出血が止まった。
- 45 イエスは、「わたしにさわったのは、だれですか」と言われた。みな自分ではないと言ったので、ペテロは、「先生。この大ぜいの方が、ひしめき合って押しているのです」と言った。

- 46 しかし、イエスは、「だれかが、わたしにさわったのです。わたしから力が出て行くのを感じたのだから」と言われた。
- 47 女は、隠しきれないと知って、震えながら進み出て、御前にひれ伏し、すべての民の前で、イエスにさわったわけと、たちどころにいやされた次第とを話した。
- 48 そこで、イエスは彼女に言われた。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して行きなさい。」

説教

「どんな祈りもいけます」

ルカの福音書7章36節-50節

8章43節-48節

河村従彦牧師



背景 ~ バプテスマのヨハネの弟子たちとの
やりとり 18 ~ 35節

イエスの返答

(1) 決してヨハネを不信仰だとは言っていない

(2) 新しい時代が来ている

イザヤ書35:5 ~ 6、61:1

ルカ7:22「死人が生き返り」が加筆

I 罪深い女性のストーリー

A 福音書の香油を注いだ記事4つ

1 マタイ26:6～13、マルコ14:3～9

場所 ～ベタニヤ、ツアラアトに冒された
人シモンの家

時 ～受難週の火曜日

2 ヨハネ12:1～

場所 ～ベタニヤ

時 ～受難週前の金曜日の日没後

この三つの記事は同じ出来事

3 ルカ7

場所 ~ パリサイ人シモンの家
ベタニヤのマリヤ、マグダラのマリヤで
はない
→この記事だけ別物

B 状況

- 1 パリサイ人シモンがイエスさまを招いた
- 2 そこに、一人の罪深い女性が登場
- 3 パリサイ人の反応 39節
- 4 新約の恵みの時代の特徴 42節
神の国は、お返しができない
信仰とは「やっていただく意識の深まり」

II 長血を煩った女性との共通点・相違点

A 状況

会堂管理者の娘が病気
女性がイエスさまに触れた

B 2人の女性の共通点

- 1 気の毒な女性だった
- 2 ただ接近・接触した
- 3 うしろから近づいた
- 4 「あなたの信仰があなたを直したのです。
安心して行きなさい」と言われた

C 2人の女性の相違点

7章 罪深い自分の姿を知って主に近づいた

8章 現実問題でどうにも困って主に近づいた

D 信仰的な問題と実際的な問題

- 1 罪の償いについての無力さ
- 2 現実問題についての対応の限界
- 3 御利益宗教

III 信仰の意味を考える

A この女性の近づき方

- 1 信頼して従って行こうというようなものはなかった
- 2 福音を理解したものではなかった
- 3 崇高な理念・思想を求めてではなかった

B 信仰とは何か

- 1 何でもいい、わたしに持ってきてくれたことがすばらしい
- 2 瞬間のシンプルさ
- 3 女性の姿から教えられるヒント
 - (1) 信仰は適用するものではない？
 - (2) 信仰は成長するものではない？
- 4 嘘がないこと
- 5 安心して心配できること